

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：住宅費 目：住宅建設費

事業名 県営住宅解体事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 住宅課 公営住宅係 電話番号：058-272-1111(内4835)

E-mail：c11659@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 975,814 千円 (前年度予算額： 1,232,994 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,232,994	554,846	0	0	0	0	0	678,100	48
要求額	975,814	439,115	0	0	0	0	0	536,600	99
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

平成28年度の住生活基本計画の見直しに伴い、必要に応じて住棟の縮小・集約を検討していく方針が示されたことを受け、県営住宅縮小化事業により住民の移転を実施している。

その後、各団地の空き住棟、空き部屋の利活用に関して県及び所在する市町村へ照会を行っているが、実現可能な活用案がなかったため、赤保木住宅1棟(24戸)、宮代住宅1棟(40戸)、泉北住宅1棟(30戸)、旭ヶ丘住宅1棟(24戸)、加野住宅4棟(各30戸)、荒崎住宅1棟(40戸)、尾崎住宅6棟(各30戸)の解体を実施する必要がある。

なお、跡地については、住民アンケートを実施しているほか、県及び所在地へ照会を行い、活用方法を模索している。

(赤保木住宅1棟(24戸)は令和5年度、旭ヶ丘住宅1棟(24戸)・加野住宅3棟(各30戸)は令和6年度に解体済。加野住宅1棟(30戸)・泉北住宅1棟(30戸)・尾崎住宅2棟(各30戸)は令和7年度に解体工事を実施中。)

(2) 事業内容

・宮代住宅1棟(40戸)、荒崎住宅1棟(40戸)、尾崎住宅4棟(各30戸)の解体工事を実施する。

（３）県負担・補助率の考え方

R3. 4. 1公営住宅等整備事業対象要綱改正により

①公営住宅の将来的な需要増が見込めず、長寿命化計画等で総管理戸数の削減を位置付けている場合であって

②地方公共団体が居住者に対して移転の働きかけを行い

③現在の居住者が既存の公営住宅やセーフティネット住宅に移転することにより、早期に除却を行う場合については、公営住宅の除却費が補助対象（補助率45/100）となり県負担が軽減されることになった。

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	13,466	工事監理費
工事請負費	962,348	解体工事費
合計	975,814	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

「岐阜県公営住宅等長寿命化計画」において、県営住宅縮小化事業の移転により空き住棟となった赤保木住宅１棟（24戸）、宮代住宅１棟（40戸）、泉北住宅１棟（30戸）、旭ヶ丘住宅１棟（24戸）、加野住宅４棟（各30戸）、荒崎住宅１棟（40戸）、尾崎住宅6棟（各30戸）の活用手法については、実現可能な利活用案がないため、速やかに解体する。

（２）後年度の財政負担

県営住宅の集約化の状況により、R9以降に解体を行う棟が他団地でも発生する見込み。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・R 8 年度は、宮代住宅 1 棟、荒崎住宅 1 棟、尾崎住宅 4 棟の解体工事を実施する。これにより R 5 年度から R 8 年度までに 15 棟の解体工事を完了する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

県営住宅の集約化後の活用又は解体が決まっていない棟があるため、解体工事の定量的な目標を定めるのは困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 5 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>
令和 6 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標： _____ 実績： _____ 達成率： _____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント

又は事業名及び所管課

組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】